

- 1 894年に菅原道真の意見で停止され、その後の国風文化の発達につながった、中国へ使節を送る制度の停止を何という？
- 2 中国で長く繁栄した王朝である唐が滅亡したのは何年？
- 3 平安時代初期、朝廷の支配が及びにくかった日本の北東部地域を何という？
- 4 794年に山背国へ平安京を遷都し、奈良時代の政治を立て直そうとした天皇は誰？
- 5 遣唐使の停止以降、中国文化を日本の風土に合わせて日本独自に発展させた文化を何という？
- 6 平安時代、紀貫之に最初の勅撰和歌集の編纂を命じた天皇は誰？
- 7 平安時代初期まで、日本が中国（唐）へ文化や制度を学ぶために派遣した使節を何という？
- 8 清少納言が記した、宮廷の生活や自然について独自の感性で書きつづった日本を代表する文学形式は何？
- 9 遣唐使の停止を建議した後、政争に巻き込まれて左遷された先はどこ？
- 10 比叡山で修行を積んだ僧たちが鎌倉時代に開いた、新しい仏教の宗派の総称を何という？
- 11 平等院鳳凰堂などの建築に影響を与えた、阿弥陀仏にすぎる信仰を何という？
- 12 桓武天皇から命を受け、蝦夷を服属させるために派遣された武將は誰？
- 13 「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも 無しと思えば」という歌を詠み、摂関政治の全盛期を築いた人物は誰？
- 14 清少納言が仕え、『枕草子』執筆のきっかけとなった一条天皇の後は誰？
- 15 1159年に平清盛と争い、平治の乱を起こした源氏の武士は誰？
- 16 894年に菅原道真の提案によって中止され、日本独自の文化を発展させるきっかけとなった出来事を何という？
- 17 平安時代に藤原氏が摂政とともに就任し、政治の実権を握った官職を何という？
- 18 平安時代中期に、貴族社会を題材とした長編物語『源氏物語』を執筆した女性作家は誰？
- 19 平安時代初期、地方政治の立て直しを図り、国司への監督を強化した天皇は誰？
- 20 平安時代に国風文化が発展するきっかけとなった、中国へ使者を送る制度の終了を何という？
- 21 平安時代に、地方に赴任せずに京に留まったまま役職だけを持つ国司のことを何という？
- 22 紀貫之らが中心となって編纂した、日本で最初の勅撰和歌集を何という？



① 書く  
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う  
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける  
言えたら□にチェック

| 問  | 解説                                                                  | ▼ここで折る | 答え            | 言えた                      |
|----|---------------------------------------------------------------------|--------|---------------|--------------------------|
| 1  | 894年の <u>遣唐使廃止</u> によって日本は中国との公的な外交関係を絶ちました。                        |        | <u>遣唐使廃止</u>  | <input type="checkbox"/> |
| 2  | <u>907年</u> 、唐は朱全忠によって滅ぼされました。                                      |        | <u>907年</u>   | <input type="checkbox"/> |
| 3  | <u>東北地方</u> には、朝廷の支配に従わない人々が生活しており、朝廷側は彼らを「蝦夷」と呼んで服属させようとした。        |        | <u>東北地方</u>   | <input type="checkbox"/> |
| 4  | <u>桓武天皇</u> はまず長岡京への遷都を試みますが失敗し、その後794年に山背国（現在の京都）へ平安京を遷都しました。      |        | <u>桓武天皇</u>   | <input type="checkbox"/> |
| 5  | <u>国風文化</u> は、仮名の発明による物語文学（源氏物語など）の発展や、寝殿造のような日本独自の建築様式が特徴です。       |        | <u>国風文化</u>   | <input type="checkbox"/> |
| 6  | <u>醍醐天皇</u> は学問や芸術を尊重し、多くの文人を重用しました。                                |        | <u>醍醐天皇</u>   | <input type="checkbox"/> |
| 7  | <u>遣唐使</u> は、天皇の命を受けて唐へ派遣された公式の外交使節団です。                             |        | <u>遣唐使</u>    | <input type="checkbox"/> |
| 8  | <u>随筆</u> （エッセイ）は、決まった形式にとらわれず、作者が思ったことや見たこと、季節の移り変わりなどを書き記す形式です。   |        | <u>随筆</u>     | <input type="checkbox"/> |
| 9  | 道真の急激な昇進に嫉妬した藤原氏などの貴族によって、道真は無実の罪を着せられ、九州の <u>大宰府</u> へ左遷されました。     |        | <u>大宰府</u>    | <input type="checkbox"/> |
| 10 | これが <u>鎌倉新仏教</u> と呼ばれる一連の宗派です。                                      |        | <u>鎌倉新仏教</u>  | <input type="checkbox"/> |
| 11 | <u>浄土信仰</u> は、「南無阿弥陀仏」と唱えることで、死後に阿弥陀如来のいる極楽浄土へ生まれ変わることができる教えです。     |        | <u>浄土信仰</u>   | <input type="checkbox"/> |
| 12 | <u>坂上田村麻呂</u> は、桓武天皇により「征夷大將軍」に任命され、大規模な軍を率いて東北へ向かいました。             |        | <u>坂上田村麻呂</u> | <input type="checkbox"/> |
| 13 | <u>藤原道長</u> は、娘たちを次々と天皇や皇太子の後とすることで、揺るぎない地位を築きました。                  |        | <u>藤原道長</u>   | <input type="checkbox"/> |
| 14 | <u>藤原定子</u> は非常に教養深く、気品あふれる人物として知られていました。                           |        | <u>藤原定子</u>   | <input type="checkbox"/> |
| 15 | 1159年、義朝は藤原信頼と結託して挙兵しましたが、最終的に平清盛に敗北しました。                           |        | <u>源義朝</u>    | <input type="checkbox"/> |
| 16 | 894年、朝廷で活躍した菅原道真の建議により、遣唐使の派遣は停止されました。                              |        | <u>遣唐使の廃止</u> | <input type="checkbox"/> |
| 17 | 「摂政」は天皇が幼少の時に代わって政治を行い、「 <u>関白</u> 」は天皇が成人した後に政治を補佐する役割を持つ役職です。     |        | <u>関白</u>     | <input type="checkbox"/> |
| 18 | <u>紫式部</u> は藤原道長の娘に仕えた女房であり、宮廷社会の複雑な恋愛や人間模様を描いた長編小説『源氏物語』を執筆しました。   |        | <u>紫式部</u>    | <input type="checkbox"/> |
| 19 | <u>桓武天皇</u> は長岡京を経て平安京へ都を移し、国家の立て直しを行いました。                          |        | <u>桓武天皇</u>   | <input type="checkbox"/> |
| 20 | <u>遣唐使の廃止</u> は、中国の文化に直接頼る時代から脱却する転換点となりました。                        |        | <u>遣唐使の廃止</u> | <input type="checkbox"/> |
| 21 | <u>逢任</u> （ようじん）は、国司が自らは現地に行かず、代わりに代官である「目代（もくだい）」などを派遣して統治させる形態です。 |        | <u>逢任</u>     | <input type="checkbox"/> |
| 22 | 『 <u>古今和歌集</u> 』は、紀貫之らが中心となって編纂した、日本で最も古い勅撰（天皇の命令による）和歌集です。         |        | <u>古今和歌集</u>  | <input type="checkbox"/> |

言えなかった用語ノート